

日仏の政府AI基盤比較：日本「源内」とフランス「Albert API」の違いと未来像

日本「源内」：職員の業務生産性を高める AI ワークプレイス

Web UIを中心にチャット・翻訳・行政アプリを集約し、2026年度に全府省庁約18万人へ展開。

ラストワンマイルの業務UIに優れる

ラストワンマイルの業務UIに優れる

上位のUI/アプリ層

「競合」ではなく「異なるレイヤー」の相補的なシステム

源内は上位のUI/アプリ層、Albert APIは下位の推論/APIゲートウェイ層に優れる。

下位の推論/APIゲートウェイ層

フランス「Albert API」：主権維持と重複投資を防ぐ共通バックエンド

OpenAPI準拠の共通APIを提供し、特定ベンダー依存を防ぎつつ70以上の公共プロジェクトで稼働。

透明性の高いデータ統制に長ける

透明性の高いデータ統制に長ける

両国の政府AI基盤における主要スペックの対比

中心的性格	職員向けAI UI + 行政アプリ基盤	システム向け共通AI API / モデルゲートウェイ
主な利用者	国家公務員（約18万人対象）	行政デジタルサービス・アプリ開発者
推論データの保持	保持範囲・期間は未指定（公開文書）	推論本文は永続保存しない（Zero-retention）

両者の長所を統合した理想的な「政府AI基盤の4層構造」

